

『理論と動態』査読規程

特定非営利活動法人社会理論・動態研究所（以下、研究所）の研究紀要『理論と動態』（以下、本誌）の編集委員会は、次のような査読規程を設ける。

1. 本誌に投稿する論文等は、他誌等に未発表のものに限る。また、他誌等へ投稿および査読中のもの、他誌等との重複掲載は認めない。
2. 本誌に掲載する論文等は、テーマの設定、理論、その実証において、学術的に「高い水準」で「オリジナルな」ものであることを期する。
3. 論文は、本文中に執筆者名を記載せず、または参照・引用文献など、執筆者と分かる一切の記載を行わない。
4. 自由投稿の論文・研究ノート等は、投稿された時点で、編集委員会が、原稿を受理して査読を行うかどうかを判断する。
5. 自由投稿の論文・研究ノート等は、編集委員会が委嘱する査読委員が査読し、掲載の可否を判定し、また、修正等の指示を行う。
6. 査読は、投稿者、査読委員とも完全匿名により行う。編集委員がこれを仲介する。査読および編集において、個人のプライバシーは保護されなければならない。
7. 自由投稿の論文・研究ノート等について、査読委員 2 人を設ける。
8. 査読委員は、査読を 2 度まで行い、本誌への掲載の可否を判定する。この時点で、執筆者に本誌掲載の可否の見通しを伝える。あとは編集委員会が査読を行う。
9. 掲載の可否の判定は、次のように行う。
 - A 判定 そのまま掲載が可能な場合
 - B 判定 部分的な訂正やリライトが必要な場合
 - C 判定 大幅なリライトが必要な場合
 - D 判定 掲載が不可の場合B および C についてはリライトを要請し、査読を続行する。

10. 編集委員会が、査読委員の査読・判定を踏まえて、『理論と動態』への掲載の可否を最終決定する。それが、掲載可否の見込みと一致しないこともある。
11. 編集委員会が執筆を依頼する論文（特集論文、書評論文）等についても、査読を行う。査読は、原則として編集委員会において行い、掲載の可否を決定する（掲載を認めないこともある）。
12. 自由投稿の論文等、編集委員会が依頼する論文等のいずれも、掲載が決定したものについては、執筆者・査読委員・編集委員会が納得するまでリライトを重ねて、完成した中身をめざす（すべて A 判定にもっていく）。
13. 掲載された論文については、これを英訳して、研究所の研究紀要 *Social Theory and Dynamics* または研究所が刊行する英語本に掲載することがある。
14. この規程の改廃は、編集委員会の承認によって行う。

付則

この規程は 2018 年 11 月 15 日から施行する。